

2025年度事業計画（案）

1 事業概要

1.1 事業方針

世界各地で発生し終わりの見えない戦争や紛争, 潜在する地政学的対立によるサプライチェーンの混乱や, 資源・エネルギー価格の高騰など, 世界経済は混沌とした状況となっています。一方国内では, 物価上昇と賃金上昇への対応や働き方改革の推進と同時に労働力不足への対応も切迫した状況です。さらに, 持続可能な社会の発展に向けて, カーボンニュートラルの実現を始めとした問題への対応も求められるなど, 企業や社会が抱える課題は山積しています。

そのような中で, 昨年開催した「ひろしまIT総合展2024」では, 出展企業は広島県内外から100社を超える申し込みがあり, 展示ブースも会場いっぱいの133ブースの展示となりました。また, 来場者も延べ10,000人を超える盛況ぶりとなり, 大変熱気を帯びたイベントとなりました。このことは山積する課題に対して, デジタル技術を活用して解決したい, あるいはデジタル技術を活用したイノベーションを推進したいと言う期待の高まりが表れた結果だと実感することができました。

この期待に応えるために, 広島県情報産業協会に集う私たちは, 個社ごとの能力を高めることと, 各社の不足する部分を互いに補完・協力し合い, 山積する課題に向き合っていくことが肝要であると考えます。そのことが地域産業全体の発展への貢献にも繋がり, 当協会の設立趣旨ならびに「HIAのビジョンと戦略」に沿うものと考えます。

2025年度は「ひろしまITフェス」の開催年にあたります。2023年に従来の「情報化シンポジウム」から形を変えて開催し, 一定の成果がありましたが, 今回も時代のニーズに合わせて, 更なる進化を遂げるべく, 開催内容を模索していきたいと思います。

また, 昨年度の総会時に議論を頂いた会費の改定を今年度から実施することになります。値上げに見合う魅力的な活動を協会全体で, そして各委員会ごとに模索し, 多くの会員企業の皆様が参加し, 相互に交流して頂けるような活動を展開して参りたいと思います。

私たちは地域にとって会員各社にとって, より有意義な組織となることを目指して活動してまいります。会員皆様方の積極的な参加をお願いします。

<HIAビジョンと戦略>

(1) ビジョン

- ・ 会員企業の成長と高収益化を実現する
- ・ ITを中核技術として産業・生活におけるイノベーションを牽引する
- ・ グローバル化する成長市場への対応を通じ, 情報通信産業の健全な発展と広島県の産業振興に寄与する

(2) 戦略

- ・ 新たな I T 潮流のキャッチアップ
- ・ 激変する世界情勢への対応
- ・ 山積する社会課題の解決に向けたデジタル技術の活用
- ・ 高付加価値な事業転換への対応
- ・ 情報技術・経営力の強化に資する人材育成

1. 2 重点事業

(1) 「ひろしま I T フェス 2 0 2 5」の開催

「ひろしま I T フェス 2 0 2 5」を 1 0 月に開催いたします。開催の形態や内容については時代のニーズにマッチしたものとすべく、企画委員会が中心となって検討します。最先端の I T 技術トレンドに関する講演・セミナー等を通じ、山積する社会課題の解決に向けた手がかりとすると同時に、H I A 参加各社の新たなビジネスの創出に向けたヒントとすることや、参加各社が得意とする技術・サービスに関する情報をお互いに交換しあい、互いに協働することで社会課題の解決に向けて取り組むきっかけづくりの場を提供します。皆様の積極的な参加をお願いします。

(2) 新たなビジネスチャンスへの対応

経営委員会において、広島県、広島市、中国経済産業局、中国総合通信局や各企業団体、大学や専門学校などの教育機関との交流を通じて、最新の情報提供や新たなビジネスモデルの構築、デジタルトランスフォーメーションの推進を目的としたセミナーの開催等を企画し、新たなビジネスの拡大を図り、I C T 企業経営者を支援します。

(3) 先端的 I T 技術のフォローアップ

技術委員会及び H i B i S 特別委員会において、I o T、生成 A I、ロボティクス、5 G、多様化するサイバー攻撃に対応するための情報セキュリティ技術等の最新の技術動向の研究に加え、W e b 3 . 0、メタバース、都市 O S など、さらなる新たな潮流と I T 技術の研究を進めて参ります。

(4) 優秀な I T 人材確保のための支援

人材開発委員会において、高度な I T 人材やイノベーション人材の育成やリスティング等による I T 技術者全体の母数の拡大支援など、会員企業の深刻な課題である I T 人材確保のための支援活動を推進し、さらに会員企業の経営者向けのセミナーの開催などを通じて、会員企業の経営力の強化に貢献します。

(5) 激変する世界情勢への対応

劇的に変化し続けている国際情勢の中で、海外における D X 事情や海外進出における各種支援制度の紹介、海外における実情の視察など、会員企業の国際的な対応を支援するための企画に取り組みます。

(6) 会員同士の交流と会員増強

当協会ホームページのビジネス掲示板の活性化や、広報活動を通じて会員数を増強し、広島県下のIT企業の組織化率の向上（会員の増強）に取り組めます。

また、昨年度の定時総会にて会費の値上げを決定しましたが、会員の皆様にとって当協会の活動が魅力的なものとなるよう、各委員会における活動を工夫し、さらに協会全体で行う催事の内容を工夫するなど、多くの会員企業の皆様にご参加いただける取組を推進します。

(7) 他の団体との連携

全国地域情報産業団体連合会、日本IT団体連盟、情報サービス産業協会、組込みシステム技術協会、各県の情報産業協会などとの交流や連携を通じて、当協会のプレゼンスを向上させるとともに、当協会の活動の幅を広げて会員にとって魅力あるものとしします。

2 事業計画

2.1 会議の開催

重要議案審議のため、つぎのとおり会議を開催します。

- | | | |
|----------|-------------------------|----|
| (1) 通常総会 | 年1回 | 5月 |
| (2) 臨時総会 | 必要に応じて | 随時 |
| (3) 理事会 | 原則として、毎月第2火曜日（8月、2月は休会） | |
| (4) 三役会議 | 必要に応じて | 随時 |
| (5) 各委員会 | 必要に応じて | 随時 |
| (6) 各部会 | 必要に応じて | 随時 |

2.2 委員会活動

経営委員会

1 事業方針

新型コロナウイルスの影響が落ち着き、企業が雇用に力を入れ始める中、広島市内では学生の流出が続く、中国地方全体でも労働力不足が深刻化しています。

現在の状況を受けて、多くの企業がロボット産業やICT（情報通信技術）の活用を通じた業務の効率化に期待を寄せています。しかし、これらの対策に加え、光熱費、交通費、人件費の大幅な経営コストの上昇や、その他あらゆる経営課題が企業経営に新たな負担をもたらしており、その対応が急務となっております。

そこで経営委員会では、経営者だけでなく、その支えとなる社員も対象にセミナーを開催し、企業が抱える課題の解決に向けた取り組みを進めていきます。

2 事業計画

(1) 定期委員会の開催

- ・会員の経営者間で情報交換・協議を行います。
- ・活動計画を協議し実施します。
- ・2回のミニセミナーを開催します。

(2) マーケティング研究部会（研修会の実施）

物価の高騰、労働力不足、賃金上昇への対応など、企業が抱える課題は山積みとなってきました。AIやDXなどの先端技術の進化により、高い効率性と利便性がもたらされ、IT活用／DX推進に積極的に取り組むユーザー企業は益々広がってきています。

上記のような背景を踏まえマーケティング研究部会では、新事業進出をテーマに研修会を開催します。次世代のリーダーの方々に講話だけでなく、グループ討議（ケーススタディ等）を交えて参加者参画型の研修会（9月、11月、1月、3月の4回の予定）を実施します。

(3) 情報提供の実施

ICT企業に対するユーザー企業の期待（IT活用、DX推進、生成AI活用など）に応えるため、広島県、広島市、中国経済産業局、中国総合通信局や各企業団体からの情報提供やセミナー等の開催を企画し、会員企業の事業活動を支援します。

技術委員会

1 事業方針

会員がIoT、AI（生成AI含む）、Web3.0、XR、データサイエンス、ロボティクス等、最先端の知識や実装技術を習得することを目的としたセミナー等の開催や各種情報提供及び委員会参加企業の経営に資する見学会等を実施します。また、セミナー等の企画立案を中心に毎月委員会を開催し、メンバー同士の意見交換を行います。他委員会とは、両委員会にとって有益な情報共有ができるよう、セミナーなどを通じた交流を企画します。

2 事業計画

(1) 定例委員会の開催

- ① 最新技術情報の交換を行います。
- ② 協会が主催する各種行事への対応を協議し遂行します。
- ③ 活動計画を協議し実行します。

(2) セミナー等の開催

- ① 年4回開催予定のセミナーで会員に役立つ情報を提供します。

テーマとしては、IoT、AI（生成AI含む）、Web3.0、XR、データサイエンス、ロボティクス等の先端技術を中心に企画します。また、機械学習によるAI画像認識を用いた装置の制御プログラムの基本を学ぶセミナー、現場のDX実現でハードルが高い部分（機械やハードウェアの接続）などを現場に近い形で解決するための講習会等を企画します。

- ② 委員会メンバーが相互に技術情報を提供するミニセミナーを開催します。
- ③ 委員会参加メンバーの経営に資する見学会を企画し実施します。

(3)「ひろしまITフェス2025」

「ひろしまITフェス2025」の実施に向けて、セミナーの講師招聘等を企画委員会と協力して検討します。

人材開発委員会

1 事業方針

「一度しかない人生を悔いなく生きるための原理原則」を、「自分自身が実践し、自分自身がプラスに変われる」方法を身につけることに取り組みます。

また、高収益型事業構造を実現する為の経営者（社長、役員、幹部等）の育成（事業継続する知識を身に着ける）に取り組みます。

さらに、高度なIT人材やイノベーション人材の育成や、リスクリング等によるIT技術者全体の母数の拡大支援、会員企業の深刻な課題であるIT人材確保の為の支援活動を進めます。

2 事業計画

(1) 生き方セミナーの開催

心の態度を終始一貫して、いついかなる場合でも積極的にする。そうした心の態度によって人との出会いでツキをつかみ、運を呼び込んでくる。一度しかない人生を健康で悔いなく生き抜くには、常にプラス思考で、ストレスのない生き方を習得する。

(2) 経営者（社長、役員、幹部等）向けの交流会の開催

高収益型事業構造を実現する為の経営者（社長、役員、幹部等）の育成を目的とし、会員様企業の経営者様に経営の重要課題の解決に役立つヒントを得る。

(3) IT人材の育成、支援

デジタルトランスフォーメーション時代の人材には、アナログからデジタルへの変革を促し、データを戦略に展開する等、企業環境の変化を予測して変革を支援する高度なスキルを学習する。

これまでに無い人材の雇用や育成をどのように進め、業績につなげてゆくか、新しい視点での会員企業の人材像に資する情報提供を行います。

H i B i S 特別委員会

1 事業方針

H i B i S のミッションである、「広島におけるインターネットを活用したビジネスの活性化」を実現するため、I T 企業のみに限らずそれ以外の組織・個人が参加できる機会を増やし、さらに各々の部会に顧問を設置することにより産学連携を強化する事を大きな方針とします。これまでの各大学との連携をさらに強化して、若年層の技術者や起業家の発掘に努めます。

まず、2025年度では部会の数を4→3に変更します。生成A I やW e b 3. 0 など、急速に進展するデジタル技術と市場環境の変化を踏まえ、デジタル技術の活用と最新I T トrendの理解を両輪として進めることが不可欠な時代となっています。そこで、前年までのD X 研究部会とI T トrend研究部会を統合し、より強固で柔軟な体制の元、部会員の皆様が時代に即した知識とスキルを習得できる場を提供してまいります。部会内外には「I T オープンセミナー」という形で交流・学習の場を年2回企画する予定です。

毎年開催している「H i B i S インターネットビジネスフォーラム」については運営体制の再構築のため本年度は休止します。産学連携を目的とした、アイデア発想講座を開催します。

インターネットセキュリティの分野では、クラウドサービスの活用、D X の推進、多様な働き方の実現が進み生成A I の活用も浸透してきました。これらの変化はサイバー犯罪の拡大をもたらし、ランサムウェアに代表されるサイバー犯罪の被害も深刻となっています。情報セキュリティに関する課題の解決と、より安全なインターネット活用を目的として調査・研究及び情報発信に取り組みます。昨年と同様、独立行政法人情報処理推進機構（I P A）と連携して「セキュリティ・ミニキャンプ i n 広島2025」の開催を計画しています。主催イベントではタイムリーな情報提供はもとより、講師と聴講者の間でより密度の高い情報交換や交流が可能となるイベント開催に取り組みます。

以上のように、今年度もH i B i S は広島発のインターネットビジネスやベンチャー企業の発掘を行うことで、業界及び地域社会の情報化・高度化に取り組んでいきたいと考えております。

2 事業計画

(1) 3つの部会活動

- ① D X ・I T トrend研究部会（仮称）
- ② ビジネスモデル研究部会
- ③ インターネットセキュリティ部会

(2) I T オープンセミナー

H i B i S 内外、及びメンバーの部会を超えた情報交換・親交を深める場として、I T オープンセミナー（最新T e c h セミナー）を年2回開催することを目標とします。ゲストスピーカーにはインターネットビジネスで活躍中の企業を招き、ビジ

ネスアライアンスの場を提供する事でH i B i Sの活動を知っていただき、同時にH i B i Sへの新規入会を促します。

さらに、産学連携の一環として、学校関係者（先生・学生）の参加を積極的に進めていきます。部会メンバーへの情報提供やハンズオン研修、情報交流の場を提供するためのセミナーハイブリット形式での開催を計画します。

（３） I Tビジネスのアイデア発想講座2025

本企画では、I Tを活用したビジネスに取り組む企業がそのビジネス事例を発表します。また、I Tビジネスに関心を持つ学生からビジネスアイデアのひな型を発表します。地域における優れたビジネスの取り組みを広く紹介すると共に、I C Tビジネス研究会主催の全国大会「J a p a nビジネスデザイン&アクションアワード」への応募に向けて、学生アイデアのブラッシュアップを支援します。

（４） セキュリティ・ミニキャンプ i n広島2025

独立行政法人情報処理推進機構（I P A）およびセキュリティ・キャンプ実施協議会は、次世代を担う日本発で世界に通用する若年層の情報セキュリティ人材を発掘・育成するため、産業界・教育界を結集した講師によるセキュリティ・キャンプを実施し、それを全国的に普及・拡大する取組みを進めています。H i B i Sではこの取組みと連携して昨年に引き続き「セキュリティ・ミニキャンプ i n広島2025」を8月22日・23日に開催する予定です。

（５） インターネットによる情報提供

- ・W e bサイトを活用してH i B i Sの活動状況を周知します。

総務委員会

1 事業方針

事業計画と予算の立案・執行の本部機能を発揮し、各委員会の活動を側面より支援していきます。具体的には事業計画および予算・決算の取り纏め、各種会議の取り纏め、行政・外部団体とのパイプ役、更に各委員会に属さない業務も含め幅広い業務を事務局と連携して行います。

また、総務部長会では引き続き会員企業の労働環境向上や働き方改革推進に向けて、労務関連、法改正、SDGs等についての勉強会を実施します。

交流部会では会員の情報提供・情報交換を目的として、通常総会等で記念講演会、懇親会を開催するとともに、会員相互の親睦を深めるため、イベントを企画します。

また、ビジネス交流会の開催など会員以外の方々との情報交換・交流の場の提供に努めます。

海外視察部会では、海外のIT、デジタル、DX事情に精通している方を講師にして、セミナーや講演会を実施し、最新的话题を提供します。海外視察については、諸般の状況を勘案したうえで、実施すべきかどうかを検討いたします。

広報部会では協会の活動を内外に伝え理解いただくと共に、協会を活性化するための広報活動を行っていきます。

2 事業計画

(1) 総務委員会

- 事業計画と予算の執行に関わる業務全般
- 総会・賀詞交歓会の開催

(2) 総務部長会

- 総務部長会の開催（年4回程度）

(3) 交流部会

- 記念講演会、懇親会の開催（総会、賀詞交歓会）
- 会員親睦行事の開催
- ビジネス交流会の開催（年2回程度）

(4) 海外視察部会

- 海外のIT事情に詳しい識者を招いての講演会、セミナーの実施
- 海外視察については諸般の状況を勘案して実施を判断

(5) 広報部会

- 情産協ニュースの作成
- 情産協ホームページの運営
- 情産協SNSの運営
- 協会会員向けのメールでの情報提供
- 「ひろしまITフェス2025」の広報活動

企画委員会（ＩＴフェス準備委員会）

1 事業方針

「ひろしまＩＴフェス２０２５」の開催に向けた準備・企画検討を行います。

今回のフェスは、総合展と比べて小規模ですが、コンセプトとして広島県の企業を中心としたブース展示やイベントを行い、地域に根ざしたＩＴ技術やサービスを紹介します。

また、学生をターゲットとしたブースやイベントの企画も検討し、広島の企業の魅力を発信し、リクルートの場合としても活用したいと考えています。

行政機関や各種団体との連携（共催・後援等）を深め、広島のＩＴ業界と地域産業の発展に寄与できるよう、イベントの成功に向けて取り組んでまいります。

2 事業計画

- （１）準備委員会の組織編制
- （２）準備委員会の開催
- （３）行政機関、関連団体との連携協議
- （４）開催企画書（案）、収支予算（案）の作成
- （５）開催当日の運営